

放課後等デイサービス真愛萩原 自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月1日

事業所名 放課後等デイサービス真愛萩原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	指導室・学習室・更衣室・静養室・事務室で区切りを設け、個々の活動に応じて使い分けをしています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	法の配置基準を満たしています	配置基準より多い配置数にしています。シフト制勤務のため、各学校への送迎時間帯、利用者様の状態に応じて臨機応変に人を充てたり、職員一人ひとりの質をレベルアップする、利用者の動線を予測するなどの工夫をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	玄関から段差なく室内に入れるように設計されています。医療ケアの必要な利用者様の受け入れは想定していないため、手すりの設置はしていません	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	業務を運営したり、利用者様を支援する上での問題点があれば、職員でミーティングを行い、方法・成果の話し合いを常にしています。	シフト制勤務のため、全ての職員が話し合いに参加できません。そのため、ミーティングの内容を議事録にして残し、ミーティングに参加していない職員にも情報共有がなされるようにしています。また、本社が中心になり、萩原・皆春・南大分共通のPDCAが実施される事案もあります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		今年度開設したばかりで、今回初めて保護者向け評価表を配布回収致しました。保護者様のアンケート結果を参考に業務改善につなげていきたいと思っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	当社ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		今後検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	大分市や大分県主催の研修会には、できるだけ多くの職員が参加しています。常勤職員だけでなく非常勤職員にも門戸を開放しています。外部研修だけでなく社内での研修機会も設けています。	シフト制勤務のため、全員が参加できる時間を確保することが難しい状況です。社内研修は事業所ごとに回を分けて実施したり、研修計画を早めに周知するなど工夫しながら実施頻度を上げるよう努めて行きたいと思います。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	利用開始時のアセスメントとともに、成長とともに再アセスメントをしています。	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	社内独自の統一したアセスメントツールを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	料理作りのメニューやお出かけ場所の選定、実施計画などを事業所の常勤職員全員が関わって計画しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	感覚あそび・運動あそび・ソーシャルスキルトレーニング等の中から、日替わりで毎日違う活動を提供しています。	今後、活動プログラムの中身や活動がもたらす効果等を保護者様に発信していくように努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	休日や長期休暇中は、お出かけ、外遊びや料理作りなど時間が必要な活動を設定しています。また、夏祭りやクリスマス会など季節のイベントを準備段階から利用者様自身が関わり、リーダーシップを養えるよう工夫して支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	全員でする活動、個別の目標を分けて設定しています。1カ月のプログラム表は利用者様に事前に配布しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	ミーティングの内容を議事録にして残し、ミーティングに参加していない職員にも情報共有しています。	長期休暇中の打合わせは時間の制約があつて難しいですが、利用者様の気になる様子などは送迎開始前に申し合わせを行つて情報共有に努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	(無回答1)利用者様ごとの活動記録を毎日記入しています。特に気になった点はミーティングの議題に挙げるなどし、利用者様が安心して過ごせるよう努めています。	シフト制勤務のため、その日出勤の職員全員が支援終了後に揃わないので難しい面もありますが、活動記録へ記載することで、職員個人個人の気づきを共有することができていると思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	(無回答1)「デイ日誌」という複写式ノートで保護者様に日々の支援をお伝えしています。また、それとは別に活動の記録を取り、利用者様ごとに保管しています。	利用者様の様子が普段と違うと感じた時は、保護者様や学校の先生に相談をし、原因を探っています。知り得た情報は活動記録やミーティング議事録などで職員へフィードバックし、利用者様の現状の把握に基づいた支援を心がけています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	(無回答1)半年に一回行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	(無回答1)厚労省のガイドラインに示されている基本活動を指針として活動プログラムを作成しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	(無回答1)主に管理者・児童発達支援管理責任者が参加しています。	シフト制のため、管理者や児童発達支援管理責任者が参加できないこともあります。その場合は、日々利用者様と関わりを持つ指導員を事業所内で指名し、利用者様の状況を事業所内で整理した上でサービス担当者会議に参加する場合があります。次代の児童発達支援管理責任者を育成する為のOJTを兼ねています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	(無回答1)下校時刻等については、保護者様を通じて連絡いただいています。利用者様の利用開始にあたって、保護者様より当事業所の連絡先を伝えていただいています。トラブル発生時や予定の変更があった場合は直接学校からご連絡いただいています。	利用者様の下校時に出来るだけ学校の先生方とお話をするようにしています。利用者様がいつもと違う様子の時は、こちらから問いかけをし学校での様子を教えていただくよう努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	(無回答1)医療的ケアが必要な利用者様の受け入れについては、今のところ考えていません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	(無回答1)直接のやり取りは少ないですが、小学校一年生の利用者様受入れの際は、相談事業所を通して情報が共有されています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	(無回答1)情報提供の求めがあればいつでも応じられるように、利用者様一人ひとりの活動記録を整理保管しております。	移行時、放課後等デイサービス事業所と障害福祉サービス事業所が同席するサービス担当者会議が開かれることがあり、積極的に情報を提供するように努めています。ただ、全員の利用者様に対して同じようなサービス担当者会議が開かれているわけではなく、相談支援事業所にお任せしている状況です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	(無回答1)利用者様が落ち着かない状態が続いた時に助言を受けたり、研修のご案内には積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	(無回答1)	当事業所は東大分小学校と萩原西児童公園に接する立地であることから、個人的に触れ合う機会が多いです。しかし、保護者様から障がいのないお子様との交流を望まない声もあり、事業所として慎重に検討する必要があると感じています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5	(無回答1)	今後検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機 関や保 護者との 連携	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	6	0	(無回答1)デイ日誌、連絡 ノート、送迎時の対応やメー ル等で情報共有をはかっている。	保護者様の願いや利用者様の課題につい て、全員の保護者様と100パーセント 理解し合っているかと言うと、到達でき ていないと感じます。現状に甘んじるこ となく熱意を持って更なる情報共有に努 めたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニン グ等の支援を行っている	3	3	(無回答1)	今後検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	0	(無回答1)契約時に、契約 書・運営規定・利用のしおり などを使って丁寧に説明を 行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	6	0	(無回答1)送迎対応時、電 話、メールなどで支援を行っ ています。	保護者様や利用者様にいつもと違う様子 があれば、こちらからお声をかけさせて いただいておりますが、困り感を内に秘め 外に出すのが苦手な方もいらっしゃいま す。保護者アンケートを利用し、事業所 からの積極的なアプローチに努めたいと 思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	2	4	(無回答1)	今後の課題として検討したいと思いま す。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	6	0	(無回答1)	苦情相談窓口を設置しています。開所間 もない事業所なのでまだ対応事例はあり ませんが、契約時に保護者様に苦情相談 窓口のご案内をさせていただいておりま す。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	7	0	活動予定については毎月保護 者様にお知らせするととも に、その日の活動を写真に収 めたものを利用者様ごとに毎 回のご利用時にお渡ししてい ます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	個人情報に十分注意している	6	0	(無回答1) 個人情報が記載された文書はカギ付きの棚にて保管しています。ホームページ等に利用者様の姿を掲載する場合は事前に保護者様に承諾をいただいております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	(無回答1) 利用者様に対しては視覚支援や文字盤を利用することのほかに、“すらら”という学習教材を導入している。当事業所の強みを生かして利用所様と職員がメールで気持ちのやり取りを行う試みをしています。保護者様に対しては、直接の面談のほかに、連絡ノート・電話・メールとご家庭の実情に沿ったツールを使用し、情報伝達を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	(無回答1)	今後の課題として検討したいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	(無回答1)	各種マニュアル類に対しては、事業内研修やミーティング等で職員への周知は進んでいますが、保護者様へのアピールはまだまだだと感じています。放課後等デイサービス計画の説明のための面談時に紹介するなどし、周知の徹底を心がけたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	(無回答1) 令和5年10月28日に津波を想定した避難訓練を行いました。地域の津波避難ビルを利用者様とともに回り非常に実のある訓練になりました。また、その際保護者様の緊急連絡先・職員の緊急連絡網の再確認を行っています。	各種災害に備えた訓練を今後も継続して行っていきたいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	(無回答1)大分県の主催する虐待防止研修会には毎回職員を参加させています。また、年に一回は社内研修を開催しています。(令和5年度は3月に実施予定)	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	(無回答1)社内の虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会・虐待防止研修会において職員の意識の統一化を図っています。また、放課後等デイサービス計画への記載を行うとともに、計画説明時の面談において毎回保護者様に同意をいただいております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	(無回答1)契約時に食物アレルギーの有無について保護者様に確認させていただいております。食物アレルギーのある利用者様についてはおやつのご提供・調理関係の活動時に配慮して対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	(無回答1)作成し、共有しています。	今後は、一つの事業所内だけでなく、萩原・皆春・南大分三つの事業所のヒヤリハット事例の共有をしていきたいと思っております。